

あくね 市議会だより



今号の主な内容

- 9月定例会 大川地区に乳幼児が屋内で遊べる場の整備予算など可決・・・2
- 討論～多くの 賛否 活発に～・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
- 各議員が市政を問う～一般質問～・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9



左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると市議会のホームページにリンクします。

二次元コード

東京六大学野球三冠王

阿久根で春季キャンプを行った立教大学の山形球道選手

令和7年11月14日発行 (No.230)

大川地区に乳幼児が屋内で遊べる場の整備予算など可決

9月

一般会計補正

1億4,341万6,000円を追加し、総額136億33万4,000円に

- ・屋内の遊べる場づくり事業ほか **578万円**
大川公民館の室内に整備。
対象は0～2歳児と保護者。
冷暖房設備と遊具・床マット設置。
平日のみ利用可能。



- ・地域介護基盤整備事業看護小規模多機能型居宅介護（かんたき）ほか **5,130万円**
通い・訪問介護・訪問看護・泊まり（宿泊）を組み合わせ、看護職による医療的ケアもできる施設をつくる。



- ・活動火山周辺地域防災営農対策事業 **1,466万円**
農作物洗浄用機械の導入補助

- ・新図書館建設用木材製材等業務 **1,520万円**
山下（烏山）の市有林の50年経過した木を伐採。製材、自然乾燥し新図書館に使用する。

- ・企業立地促進補助金 **1,400万円**
- ・阿久根大島渡船補助事業 **120万円**

- ・新図書館建設に関する債務負担行為の設定 **9億2,500万円**

9月

特別会計補正

- ・国民健康保険特別会計補正予算（事業勘定）
113万3,000円を追加し、総額27億3,789万1,000円に
- ・介護保険特別会計補正予算
57万円を追加し、総額31億7,933万3,000円に
- ・後期高齢者医療特別会計補正予算
52万8,000円を追加し、総額4億3,063万2,000円に

人事

- ・教育委員会の委員
原田 大輔 氏（新任）
- ・固定資産評価審査委員会の委員
寺畑 幸雄 氏（新任）

条例

- ・市議会議員・市長選挙の公営に関する条例の一部改正
選挙運動用自動車・ポスター経費単価引き上げ
- ・市職員育児休業等に関する条例及び市企業職員の給与種類及び基準に関する条例の一部改正
育児休業期における部分休業の拡充等
- ・市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
仕事と育児の両立支援制度、利用意向確認等

決議

- ・新阿久根市立図書館に関する調査特別委員会の設置に関する決議
議員提案で決議案が提出されましたが、否決されました。

予算委員会

○一般会計補正予算(第2号)

一般会計補正予算(第2号)



生涯学習課 所管課への主な質疑

新しい図書館建設の債務負担行為の補正について

Q 9億2500万円以外にも備品購入費等、まだ金額がかかることだが、全体的にどれくらいかかるのか。

A この他、外構工事費、備品購入費が加わるが、これは今後の入札等にも関わるので差し控える。

Q どういう図書館ができるか全然聞かされていない。12年前は設計図も開示されたと記憶しているが、今は見当たらない。

い。予算までつけて着工するのは性急すぎるのではないか。大丈夫か。

A 以前に実施設計があり、公開された場があった。基本的には大きな変更はない。今回の変更は大きな「がわ」の変更ではなく、中身の変更と理解願いたい。

新しい図書館の構造材として、市有木材製材等を予算計上したことについて

Q どの市有林で、何年ぐらいのものをを使うのか。誰が伐採するのか。

A 場所は大字山下の烏山地区で、概ね50年程度経過している。森林組合が伐採して、市内の製材業者に搬入する。

Q 図面を見ないで、何をどこにというのは、どうやって確認するのか。納品されたときに、正当であるかどうか、使えるかどうかを誰が確認するのか。

A 木材をどこで使用するかは、設計を基にリストを作って渡し、それに

基づいて製材する。受け取りについては、工事請負契約を結んだ後で受け取るので、請負業者と市側発注者立ち合いで、使用できるかできないか、確認し、受け取る。

市民交流センターの非常用発電設備の修繕料について

Q 停電の場合は、マイクログリッド事業から電力が供給される。非常用発電施設が、別に必要か。

A 停電時に、すぐさま非常用に一旦切り替わるということでの非常用発電設備である。

Q 九電の停電時のことだと思いが、常にマイクログリッドから電力は供給されるのでは。
A マイクログリッドからの電力供給がなくなつたときの非常用という意味である。

討議

委員 新図書館建設事業に関して大きな論点は、設計図書が出来ていない段階で材木を発注する。債務負担行為を行う。そして、市民にもどういった図書館ができるのか、示されていない中で、こうした予算審議を行うのはどうか。

委員 設計図が出てから、金額が出てくるのならわかるが、設計図なしで決めろというのは、余りにも乱暴ではないかと疑問に思う。

委員 債務負担行為については、あくまで設定である。後々に発注が出て予算が決まってくる。図書館の建設材なども必要な措置だ。何の問題もない。

委員 以前、資料請求して図面などを見た。あれが大枠だと感じており、それをもって担当課も計算をして、この数字が出ている。議会が軽く審査をしているということはない。

討議

反対 私たちは監視機関だ。行政が市民のお金を無駄にしないようにしなければならぬ。市民への説明責任もある。それを飛ばしてしまうのが、この債務負担行為だ。行政も中身を理解しないですすめようとする。失敗を何回繰り返せばよいのか。反対である。

賛成 債務負担行為は、図書館を8年度9年度に建設することを決定することだ。中身はある程度細部に渡って、12月に出してくるので、今後も確認できる機会はある。できるだけ早く図書館建設をするために、この債務負担行為に賛成する。

採決の結果、賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○介護保険特別会計補正予算(第1号)

介護特会補正予算(第1号)



所管課への質疑、討議・討論はなく、採決の結果、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

後期特会補正予算(第1号)



所管課への質疑、討議・討論はなく、採決の結果、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決しました。

学校規模適正化調査特別委員会

○中間報告

これまでの調査の中で、田代小学校、尾崎小学校及び鶴川内中学校について、教育委員会が一定の方針を決定し、取組みを進めることが明らかになったことから、今回、この中間報告を行うこととなった。

委員長及び副委員長の互選（令和5年9月27日）

調査方法の協議（令和6年9月6日）

所管課への調査（令和6年9月17日、同年12月9日、令和7年2月27日及び同年8月27日）

教育長への質疑（令和7年8月27日）

委員の意見等（令和7年9月5日）

所管課説明と主な質疑

これまで保護者や地域住民の方々に説明・意見交換会で説明等行ってきた。その取組みの中で昨年末には、関係地区の保護者等と区長の方々、加えて市内全域の小学4年生以上中学3年生以下の保護者に対して、意見書の提出を依頼した。提出が遅れていたが、6月上旬に完了した。

その後、意見集約の結果を基に検討を重ね一定の方針を定め、総合教育会議で決定し、また、学校規模適正化協議を開催し、その方針に従って進めることを了承いただいた。

今後の方針は、田代小学校については、令和9年3月31日に新しい小学校との統廃合することを見送り、今後、新たな統廃合の方針を目指すこととする。

尾崎小学校については、令和9年3月31日に

新しい小学校との統廃合を行うこととするが、当面は、現在の阿久根小学校を存続し、阿久根小学校を一旦廃校とすることなく尾崎小学校と統廃合を行う。

鶴川内中学校については、令和10年4月に、また、阿久根中学校についても廃校とし、新しい中学校として阿久根中学校との統廃合を行うこととする。

学校の統廃合に係る今後の方向性等については、大川小、西目小、山下小、鶴川内小は、新しい小学校、阿久根小学校との統廃合を、個々の学校の状況等に依り進めることとする。令和8年3月末までに保護者、地域住民の意見の取りまとめを行い、統廃合でまとまった場合は、令和10年4月に新しい小学校、阿久根小学校との統廃合を行うこととする。

鶴川内中学校は、令和10年3月31日で統廃合を行うことで、教育委員会の方針を示されたとい

う理解でよいか。

そのような理解でよいが、調査結果に重きを置き、今年度入学された生徒については、鶴川内中を卒業することに配慮したいと考えている。

田代小学校については、区の意見は、同意しないということであるが、休校の状態でも同意しない理由は、

休校のままでも、統廃合をすることには、賛成しないということであり、地域で取りまとめられたということであった。

尾崎小学校は、令和9年3月31日、新しい小学校にとあつたが、同意された保護者の中に、山下小に入学希望をされていることを考慮した上で進めていく予定か。

尾崎小は、阿久根小に統合する計画であるが、現在、尾崎小校区に

いる子供は、山下小へ特認校制度を利用し通学可能にする。教育委員会は、どこに目を向けているのか。

子供たちファーストが一番の大きな柱であるので、このような統廃合の取組みを進めている。

教育長への質疑

令和10年以降、小規模校による特認校の存続は、考えないのか。

アンケート結果を踏まえ、関係小学校全校が、新しい小学校との統廃合でよいという場合、特認校として残るのは、脇本小か阿久根小になるが、統廃合については、同意しないという意見が多ければその学校は現存するので、その特認校は継続する。

折多小は既に複式学級であるが、教育委員会の方針でいくと、複式学級は統廃合の対象である。現時点において、対象になっていないことは、矛盾していないか。

現在の基本方針は、折多小、脇本小、三笠中の小中一貫教育を導入することで明記している。現在の折多小は複式学級であるので、折多小の今

後の方向性について検討していきたい。

田代小学校に対する意見
統廃合については、見送ることよい。

また、新たな方針を示すとあるが、住民の意見を聞き、方針を決めるといふ文言が望ましい。

※方向性のうち、「令和9年3月31日に統廃合することは、見送ることとする。」について尊重することで全委員の意見が一致した。

尾崎小学校に対する意見

尾崎小は、保護者や校区の方が廃校やむなしということであれば尊重することが必要。但しどこと統合するかは、現在、児童が通学している山下小へ、その御兄弟も通いたいという意思であり山下小と統廃合することが自然である。

統廃合に同意された意見でも子供が少なくなりやむを得ないということである。廃校後の利活用について地域の方々

を含めた話し合いの場を持ってほしい。

鶴川内中学校に対する意見

委員 中学校に関しては、10数年前に統廃合の話があつてある程度致し方ない。令和10年3月31日で同意が得られればそれでよい。また、受入れ側の阿久根中について、廃校とし新たな中学校にするということは、

学校名や校歌等も変わる可能性があるため、受入れ側の中学校の皆さんの了承を得る必要がある。**委員** 同意を得ているのであれば廃校にしてよい。また、阿久根中を廃校し、新しい中学校とすることを明記しているが、議論すべきである。阿久根中に関係する方々にとって非常に大きな問題であるので、検討が必要。**委員** 前に進んでいただきたい。



大川小、西目小、山下小、鶴川内小の学校の統廃合に係る今後の方向性
委員 阿久根小、折多小、脇本小以外にもう1校残していただければ、児童、保護者の選択肢としてよいのではないか。**委員** 折多小は複式であるのに、統廃合の対象に加えていないことは理解できない。

総務文教委員会

○市議会議員・市長選挙の公営に関する条例の一部改正

議案第38号



所管課の説明

選挙管理委員会

市議会議員及び市長の公営単価については公職選挙法施行令の規定における公営単価に準じて定めている。昨今の物価の変動を考慮し、政令において選挙公営限度額を引き上げたことから、それに準じた改正である。

主な質疑

Q 公職選挙法に準じてということだが、本市の規模であれば、他の市と同額の定めが施行令であるか。
A 人口に関係なく国の

基準が定められている。

Q 県内の自治体はどうか。
A 他の自治体は本市同様

に9月を予定している。金額は本市と同額である。

Q 物価高騰が主な理由か。
A 物価高騰による価格変動を受けての改訂である。

討議、討論はなく、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。



○市職員育児休業等に関する条例及び市企業職員の給与種類及び基準に関する条例の一部改正

議案第39号



所管課の説明

総務課

育児の部分休業制度について、現行に1日につき2時間を超えない範囲内で勤務しない形態に加え、1年つき条例で定める時間を超えない範囲内で、1日の勤務時間の全部、または一部について勤務しない形態を設け、いずれかの形態を選択可能とするものである。

質疑、討議、討論はなく、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

○市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

議案第40号



所管課の説明

総務課

国家公務員において子供の年齢に応じた、柔軟な働き方を実現するための措置として、仕事と家庭の両立支援制度に関する、職員の意向確認等の措置を講じることについて、10月1日から義務付けられることから国家公務員に準じて改正をしようとするものである。

質疑、討議、討論はなく、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

討論

多くの賛否活発に

とおりであり、それを考えれば特別委員会の設置は必要ない。

○教育委員会の委員の任命

反対 白石 純一議員

疑念が残る

教育委員としての能力は十分にあり、むしろ大変ふさわしいと思っっているが、執行部の答弁では法的にクリアできるという確信を得られなかった。

そうした疑念が市民に残ることを勘案すると、涙を飲んで反対せざるを得ない。

○新阿久根市立図書館に関する調査特別委員会の設置決議

反対 濱田 洋一議員

議会の調査権を逸脱

予算の調製権、提案権は市長に権限があり、議会は、市長が議会に提案した予算案に対して審議や調査ができ、また、やるべきことと理解している。設置の目的として、新

図書館の予算策定に関する調査を行うこととされておられ、市長の予算の調製権や提案権を侵害しかねないものであり、議会として有意すべきものではないと思う。

決議案は議会の調査権の範囲を逸脱するものではないかと疑義が生じるので、反対。



賛成 竹原 信一議員

人は減り、金はかける

図書館を何のために建て替え、運用し、コストは。そういったことについて十分理解されているか。

維持費も、人口が減り単価が大幅に上がる。

人数は減って金だけかける。しかも、いくらかけるのかをいまだにわかってない。

私たちはたくさんのお金をかけることに対する責任がある。そのことを十分に理解して、どのような図書館にしていけるかを知っていなければいけない。

特別委員会で改めて取り組むべき。

反対 川原 慎一議員

設計業務も進んでいる

新図書館については、計画・予算についても慎重に調査・審査を重ねてきた。

また、令和6年度の新図書館設計業務を可決し、それも進んでいる状況。

特別委員会の設置は、新図書館の利用を早く願う市民に説明がつかないし、予算についても他の議員の反対討論の発言の

賛成 渡辺 久治議員

前向きな議論を重ねる

言論の府である議会の役割の一つに、行政のチェック機能がある。過去の「市民交流センター」においても、特別委員会を設け、議論を交わしたことが、現在の素晴らしい「風テラス」に繋がったと認識している。新図書館について、予算委員会で論議を尽くすことも一つの方法ではあるが、他の多くの項目と重なり、十分な精査が成し得ないことを危惧する。特別委員会で前向きな議論を重ね、時代にマッチした新図書館に繋がることを期待して賛成する。

現図書館の老朽化、館内や駐車場の狭さ、トイレの使い勝手の悪さ等からできるだけ早い完成が求められる。

○一般会計補正予算(第2号) 原案に賛成

竹之内和満議員

早期完成に期待

修正案は、新図書館建設に関する予算等を本定例会では計上しないものである。

本定例会で補正予算や債務負担行為が認められないと、建設や完成が遅くなり、資材高騰でさらに予算が膨れ上がる可能性がある。

早期に新図書館が完成し、利用者が増え、子供も大人も本を読む機会が増えることを期待し、原案に賛成。

見誤っている。10年後の人口は1万2千人台の可能性があり、新図書館の未来負担は1世帯30万円を超える。利用しない人々にも、未来の世代にも重く等しくのしかかる。勢いで作って責任を持たない姿勢が信頼と財政を蝕む。議会は行政に追従するだけの存在だ。

教育長の発言「子どもに予算の話をする必要はない」「将来の負担は考えていない」は教育の使命を自ら否定している。未来を見ず、責任を持たぬ体制の象徴が補正予算案だ。反対する。

修正案に賛成

川畑 二美議員

改めて議論を行うべき

設計図もない段階で、入札や資材発注を可能とする債務負担行為の設定は余りにも急で、議会の責任ある審査を得ていない。どのような建物が望ましいか、市民と議会で改めて議論を行うべき。

設計図のないまま木材の製材費先行計上するの



修正案に賛成

竹原 信一議員

未来の世代にも負担が

市長は「せいぜい5年先しか見られない」と発言したが、5年先どころか、現在も、1年前すら

は、見切り発車であり、適切ではない。市の山から伐採し、製材所で保管するという説明だが、建設の見通しが定まらない状況で進めるのはリスクが大きいので、この費用を削除する修正案に賛成。

原案に賛成

渡辺 久治議員

建設費高騰を懸念

修正案の新図書館そのものの否定的な意見にはくみしない。大枠での図書館の論議は、先の委員会において為されたものと、委員長として認識している。いたずらに先延ばしして諸物価高騰の折、建設費が跳ね上がることを懸念する。大切なことは、内部のソフトとしての変更、そして目指す図書館像について詰めることだ。



原案に賛成

木下 孝行議員

議会の意見を考慮

新図書館の建設に関しては、昨年9月の議会において、設計変更委託事業が予算計上され、議会は認めている。

委員会や一般質問等で建設時期について説明されており、議会に対し、新図書館の設計に関する意見等も聞き、その意見を考慮した設計にするとも聞いている。

債務負担行為は、財政の透明化を確保しつつ、事業の円滑な執行を可能にするものであり、建設用木材製材等業務も、地元木材を使用し、確保していく上では不可欠なものである。

原案に賛成

川原 慎一議員

早急に着手を

補正予算には市民生活に直結する重要な事業の費用が多く含まれており、早急に着手し、一刻も早く事業の効果が出るようにすることを多くの市民が求めていると思う。

市長は、図書館建設に当たっては阿久根市の木材を使うことを述べており、また、平成28年度に基本設計は完成していると説明されている。

市民の多くからは、新図書館の早期建設を願う声を聞いており、事業の早期着手、実現に向けては、原案を可決しなければならぬ。



令和7年第3回定例会 議案・審議・議決結果

議案等番号	内容	議員名 (議席番号順)														議決結果
		大田基次	川畑二美	川原慎一	大野雅子	高崎良二	渡辺久治	竹之内和満	白石純一	竹原信一	飯屋園一徳	木下孝行	山田勝	濱田洋一	牟田学	
議案第36号	教育委員会の委員の任命について	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◆	◆	◇	◇	◇	◇	◇	同 意
議案第37号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	同 意
議案第38号	阿久根市議会議員及び阿久根市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例及び阿久根市議会議員及び阿久根市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	原案可決
議案第39号	職員の育児休業等に関する条例及び阿久根市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	原案可決
議案第40号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	原案可決
議案第41号	令和7年度一般会計補正予算(第2号)	◆	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◆	◆	◇	◇	◇	◇	◇	原案可決
	// 修正案	◇	◇	◆	◇	◆	◆	◆	◇	◇	◆	◆	◆	◆	◆	否 決
議案第42号	令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	原案可決
議案第43号	令和7年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	原案可決
議案第44号	令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	原案可決
議案第45号	令和6年度水道事業会計剰余金の処分について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	原案可決
決議第2号	新阿久根市立図書館に関する調査特別委員会の設置に関する決議	◇	◇	◆	◇	◆	◇	◆	◇	◇	◆	◆	◆	◆	◆	否 決

【表の見方】 議：議案 請：請願 陳：陳情 意：意見書 *：全会一致 ◇：賛成 ◆：反対 /：欠席 -：表決権なし
 ・牟田学議員は議長職のため、議案については、表決(賛成、反対の意思表示)権はありません。

各議員が市政を問う

一般質問

令和7年第3回定例会では、9名の議員が一般質問を行いました。

- 1 白石 純一 議員「太陽光発電」
- 2 渡辺 久治 議員「旧港の利活用」
- 3 大田 基次 議員「阿久根大島」
- 4 高崎 良一 議員「試験栽培」
- 5 竹之内和満 議員「観光と環境」
- 6 大野 雅子 議員「外国人労働者」
- 7 川畑 二美 議員「健康維持政策」
- 8 竹原 信一 議員「阿久根大島」
- 9 山田 勝 議員「県営災害対策」
- 10 川原 慎一 議員「再エネモデル」

掲載内容については、それぞれの議員が行った一般質問の主な項目についての質問と答弁の要旨であり、質問者がまとめ、広報広聴委員会が編集したものです。

一般質問動画の視聴はこちら

議員写真の左下にある二次元コードをスマートフォン等で読み取ると、各議員の一般質問をYouTubeで視聴できます。

視聴の際はデータ通信料が発生する場合がありますので御了承ください。

市の出資リスクは

元本保証無く回収不能も

白石 純一 議員

太陽光発電

自 割高とみられる電気料金は施設の固定資産税で相殺されているか。
企画推進課長 6年度電気料金は、九州電力より



電気料金割高で出資金回収不能の恐れもある市役所の太陽光施設。駐車しづらい問題も。



動画視聴



自 固定資産税増額分の75%は地方交付税から引かれるので、増収は正味225万円、使用料加えても300万円程、320万円は回収されず市民にはマイナスでは。以外にコスト削減あり、

321万円余の追加費用。固定資産税約900万円、財産使用料79万円余の歳入。歳入が約670万円上回っている。

単純な電気料金だけの比較にはなっていない。
自 市の事業への匿名組合出資リスクはあるか。
企画推進課長 元本保証無く、分配減少や出資金の一部または全額回収できないリスクがある。

大川に放射線防護施設を
自 放射線防護施設を大川地区避難所に整備する必要はないか。

市長 県内にある施設は原発半径5キロのPAZ圏内に整備されたもの。本市では想定していない。

図書館立地、災害や交通の課題あるか

自 低地特有の災害、駅やバス停から距離もある。設置に適した立地か。
市長 市民交流センター建設委員会で、防災や交通含め検討し、予定地への建設を決定した。

質問者のこと

図書館は10年以上前の内容・立地計画が時代に合っていないでしょうか。

大島渡船場旧港に移転しては

意見を聞いて取り組みたい

渡辺 久治 議員

旧港の利活用

渡辺 青果市場跡地活用事業のコンセプトを旧港の利活用まで広げ、大島渡船場を旧港に移転することも検討しては。

企画推進課長 市場跡地活用事業については、将来の旧港施設等の活用も見据える中で、まずは先行して取り組んでいる。

渡辺 昨日の新聞にも載っていた。十分考慮に



動画視聴



古い建屋が撤去され、スッキリとなった旧港

入れて、旧港の開発に絡めて考えてはと思う。市長はどう考えるか。

市長 渡船場についても協議する案件だと思っ。いろんな意見を聞きながら取り組んでいきたい。

新しい図書館について

渡辺 来年の4月には着工予定とのことだが、現時点での「新しい図書館の青写真」を市民の皆さんに公開してはどうか。

生涯学習課長 現在、設計の変更中であるが、どの時期にどの程度公開できるか、設計事業者と協議したい。

渡辺 みんなが訪れやすい図書館にしてみられたい。市長はどう考えるか。

市長 本当に大事なことだと思う。図書館の魅力について高めていきたいと考えている。

【その他の質問】

・家庭ごみ処理について
・区の加入率について

質問者のひとこと

渡船事業の危機的状況が、マスコミに出た以上、早急に前向きな方針を示す必要がある。

阿久根大島航路の撤退

事業継続について意見交換

大田 基次 議員

阿久根大島

大田 阿久根大島への渡船事業について、フェリー会社が撤退を検討していることに関し、どのような対応を行っていくのか。

市長 阿久根大島は他の自治体と差別化し得る本市固有の観光資源であることから、渡船手段の確保について、九州運輸局鹿児島運輸支局にも相談を行うなど、様々な可能



動画視聴



阿久根大島行渡船

性を探りながら、今後の対応について検討している。

大田 大島の魅力を高めるための施設整備の予定があるか。

市長 島内には老朽化した施設や設備も多く、現在使用中止している施設等の撤去や、来島される方を快くお迎えできるような設備の更新、充実を図りたいと考えているが、相当な費用が必要となることから、活用可能な国などの交付金等についての情報収集を行いながら検討してゆく。

市長 本市における補助金申請の手続きは、基本的に阿久根市補助金等交付規則に基づいたものとなっている。補助金に関するすべての段階において、この規則にのっとり厳正かつ適正な事務処理を進めている。

市民の皆様が円滑に補助金制度を活用いただけるよう、今後もこの規則に基づいた丁寧な説明と適正な事務執行に努めていく。

大田 補助金申請の簡略化

補助金申請の市民

パッションフルーツは

実証実験が提案された

高崎 良二 議員



動画視聴

た新たな品目の検討が必要との意見があり、パッションフルーツの実証実験が提案された。

試験栽培

高崎 パッションフルーツは、どのような経緯で試験栽培に取り組むようになったのか。

市長 高温被害が発生している中、高温に対応し



パッションフルーツ試験栽培中

薩摩國広域輸出協議会

高崎 薩摩國広域輸出協議会は、今後どのような施策を行っていくのか。

市長 バイヤー招致における商談を実施する予定。今後、阿久根市の食材等の輸出に向けた取組を進めていく。

産業の成長

高崎 市内事業者の積極的な事業展開への支援は、どのようなことを行うのか。

市長 市内事業者への支援、商工業者事業拡大・拡充支援事業等を行っている。

阿久根大島活用

高崎 阿久根大島の活用について、どのような事業を行っていくのか。

市長 お客様満足度調査を海開き期間中に実施したほか、阿久根うみまち芸術祭において阿久根大島での作品展示や音楽イベントを実施する。

【その他の質問】

- ・企業誘致について
- ・体験型コンテンツについて
- ・人流データ活用について

質問者のコメント

観光振興は、企業・農業・産業・観光業が繋がり、連携が一番の近道。

自然保護活動との両立は

必要に応じて調整を行う

竹之内 和満 議員



動画視聴

観光と環境

竹之内 観光振興と自然保護活動との両立をどのように図っていくのか。

市長 関係者の取組で調



美しい遠浅の砂浜が3kmもつづく脇本海岸

整を図る必要がある場合、協議の場を設定するなど必要に応じて調整を行う。

竹之内 関係者間の調整はうまくいっているのか。

商工観光課長 関係者間の意見調整の折り合いはうまくいっているものとはいえない。

竹之内 海水浴の条例はあるが、文書にして双方に守らせることも一つの方法だと思うが。

商工観光課長

案件によっては関係者間で文書を取り交わす必要があると思うが、全てを文書によって取り組めるものではないと考える。

地域医療体制維持・確保について

竹之内 公的病院運営費補助事業として3年間の予定で、広域医療センターへの支援を行っているが、期限後の対応は。

市長 国の特別地方交付税や同センターの経営状況を踏まえ適切に判断していく。

竹之内 地域医療の一番中核の病院であり、なくなったら大変なことである。市長の考えは。

市長 市民にとって欠かせない医療機関であり、経営情報の状況を随時いただき適切に判断する。

質問者のコメント

自然環境の保全と観光振興のバランスをうまくとっていく必要がある。

事業所別の人数は

把握はしていない

大野 雅子 議員

外国人労働者

大野 市内居住又は勤務の外国人労働者数を把握しているか。

市長 令和7年8月末現在、就労可能外国人は275人である。国別ではベトナムの方1224人、インドネシアの方58人、ミャンマーの方40人である。
大野 外国人労働者に対し、どのようなサポートを行っているか。



動画視聴



人手不足解消にはならない人材。仲良く交流できると良いですね。

市長

ごみ出しのマナールールなど自治会からの要望を受け、事業所を訪問。周知・啓発を行ってきた。現状特段の相談、要望等がない。それぞれの事業所において対応している。市として積極的に支援の要否の確認等は行っていない。支援体制の充実を図るために、具体的な要望把握を広報紙やLINEを活用するなど、把握に努めていく。

災害時協力体制について

大野 8月8日の大雨や台風で被災した霧島市等災害の応援を行ったか。

市長 8月8日午後、水道課職員3名を派遣、給水活動を開始。断水が解

消された13日まで、延べ18名の職員により応急給水活動を実施した。貴重な体験を教訓とし、今後の災害対応のさらなる体制強化に努める。

子ども食堂について

大野 子ども食堂の利用状況は。

市長 地域の子供や高齢者が食事や交流を通して、見守りや声掛け、居場所づくりを目的。昨年度3か所で25回開催。延べ199人利用。うち子供が237人利用。

質問者のひとこと

子ども食堂で世代間交流が広がるのが良いですね。

温泉利用助成について

事業の考えはない

川畑 二美 議員

健康維持政策

川畑 3月議会で、温泉利用助成は現時点におこなわないと、答弁であった。市民の健康増進・介護予防の観点。温泉利用助成をすべきではないか。

市長 以前実施した温泉入浴券の助成事業は終了、高齢者が抱える様々な課題に対し、限られた財源の中で効果的な事業を実施、地域によって温泉施



動画視聴



設までの移動手段の確保、課題が予想される現時点では、高齢者に対し温泉施設の利用助成を行う考えはない。

【その他の質問】

- ・高齢者福祉について
- ・阿久根駅舎の利用について
- ・公共施設の修繕や改修工事における地元業者の活用について
- ・川内県発事故に備えた安定ヨウ素剤の配布について

公共施設への洋式トイレ設置について

川畑 小・中学校における洋式トイレの設置状況はどうなっているのか。

市長 令和7年度の総数324基のうち139基で42.9%となっている。小学校が全体で250基のうち108基で43.2%、中学校が全体で74基のうち31基で41.9%

質問者のひとこと

物価高騰の中で、市民の健康の1つとして温泉利用も大事であると思う。



昔から「阿久根の温泉」は有名である

市の将来設計能力は

5年先が精一杯

竹原 信一 議員



動画視聴

摘のとおりである。

図書館建設

竹原 図書館は運営までいくらかけるつもりか。
生涯学習課長 金額はわからない。

竹原 人口は減る。負担を了解されると思うか。
教育長 子供達に予算を言う必要はない。みんなで盛り上げればいい。

竹原 20年後、40年後の改修は考えたことがなかったのでは。
教育長 考えていない。それは確かである。

竹原 40年の負担と展望は考えていないのか。
生涯学習課長 長期的展望は難しい。

竹原 見通しが必要だ。
副市長 大変重要な視点と考える。

竹原 将来設計が必要ではないか。
市長 我々は5年間を、せいぜい先を見るのが精一杯であり、議員のように20年、40年先を見る力はないので、そこは能力不足と言われればその通りかもしれない。

市長の促進活動の状況は

年始、年度初、会の際に要請

山田 勝 議員



動画視聴

期着手を要望してきた。

山田 昨年は県道まで崩壊した。市長は、この件について県の関係部署に何回行ったか。
市長 年始、年度始めに県庁や振興局への挨拶の際、様々な協議会で伺う際に、本市に係る県の各種事業における予算の確保、早期着手を要請している。この事業だけに關しては特段ないが、農政分野の遅れている部分の要請は行っている。

県営災害対策

山田 県が行う桐野地区の排水路の整備工事は、早期着手に向けてどのように促進活動しているか。
市長 市では様々な機会を通じて、予算確保と早

期着手を要望してきた。

山田 農家が困っているから何とか早くとお願いしなければうまくいかないのではないかと。
市長 同じように困っているところはたくさんある。様々な部分を全体で1日も早くという要望の仕方を続けており、県も応えてくれている。

牛之浜景勝地の道の駅

山田 建設後の管理主体はどこか。
市長 トイレ等の施設は国、物産館等は地元自治体等の管理となる。

山田 管理運営に市の負担があるか。
市長 市の財政負担は可能な限り低減する方向で検討していく。

脇本海岸一帯の観光

山田 脇本海岸一帯を観光地としてどのように発展させるか。
市長 優れた景観や自然環境を大切にしながら取り組んでいきたい。

【その他の質問】
ふるさと納税について

阿久根大島

竹原 海の家A・B棟はすでに閉鎖、バンガローは傷んでいる。ものを



阿久根大島「海のレストラン」

が予算措置がなく、今年度実施していなかった。今年度ではなくずっと、誰も知らずにやってきたのでは。
商工観光課長 議員ご指

作って維持する力やその気がない。客数が減って、渡航事業者にも迷惑をかける。塗装の必要性を知らずにやってきたのか。
商工観光課長 知っていたが

たが予算措置がなく、今年度実施していなかった。今年度ではなくずっと、誰も知らずにやってきたのでは。
商工観光課長 議員ご指

たが予算措置がなく、今年度実施していなかった。今年度ではなくずっと、誰も知らずにやってきたのでは。
商工観光課長 議員ご指

地方交付税の算定は

歳入が上回っている

川原 慎一 議員

再エネモデル

川原 マイクログリッド事業は、どのような目的で、どのようなことを行う事業か。

市長 近年、激甚化する災害に備えた防災力の向上、再生可能エネルギーの活用推進による脱炭素化、エネルギーの地産地消による自立循環型社会の構築を図る目的で、令和3年度から民間事業者



動画視聴



防災力の向上、脱炭素化、自立循環型社会の構築が目的のマイクログリッド

と取り組んでいる。

具体的には、本市6施設の電力は、ほぼ全てが太陽光発電で賄われている。次に太陽光発電設備と蓄電池により、災害時に停電が長期化した場合もこの施設により電力供給が可能である。

川原 マイクログリッド整備にあたり、本市の費用負担はなかったか。

企画推進課長 合同会社トラストバンク阿久根を実施主体として施設の整備がなされ、維持、保守を含め、本市が費用を負担しているものではない。

川原 固定資産税で地方交付税を算定する上で、市の財政にマイナスがあるか。

企画推進課長 直近の普通交付税は増加傾向である。この事業に伴う追加的な費用、固定資産税等の歳入が上回っているもので、財政の負担はない。

質問者のひとこと

本市負担の電気料金より歳入の方が多く、市の負担はない。行政が取り組むエネルギー事業のモデルである。

総務文教委員会所管事務調査（長崎県）

総務文教委員会では、
・ 洋上風力発電について
・ 移住定住促進策についての2件を調査事項として定め、調査を行っています。

今回、長崎県の西海市と東彼杵町を訪問し、お話を伺いました。



議 会 を 傍 聴 し て み ま せ ん か



市議会は、市の予算や施策について話し合い、決定する大切な場所です。グループ活動や学習の機会にぜひ傍聴にお越しください。

来られない方は、市ホームページ内、市議会ページの議会中継、中継録画をご利用ください。

一般傍聴席は4階です。

3階には、車椅子傍聴席もご用意しております。

令和7年第4回定例会の予定

令和7年第4回定例会の会期日程(案)をお知らせします。日程は諸事情により変更される場合がありますので、市ホームページ、防災行政無線の放送などをご確認をお願いします。

月	日	曜日	会議の内容
11	28	金	本会議(提案説明、質疑)
12	4	木	本会議(一般質問)
	5	金	本会議(一般質問)
	8	月	委員会(条例、補正予算等の審査)
12	9	火	委員会(条例、補正予算等の審査)
	18	木	本会議(委員会審査報告、表決)

市議会

インターネット

ライブ中継

はこちらから



過去の市議会

中継録画

はこちらから



本会議の記録

(会議録・平成13年度以降)

委員会記録の閲覧

はこちらから



委員から一言

今夏の「みどこい夏祭り」は参加団体が少なく、また出水市と長島町の夏祭りとの重なった関係もあり、観客も少なかったように思えます。

この祭りへの参加の減少傾向は全国的な流れになっていきます。祭りの目的が徐々に曖昧となっており、またマンネリ化による祭りへの情熱が減少してきているようです。今一度、みどこい祭りの内容を考える時期に来ているのではないかと考えています。幼い頃のワクワクドキドキするような祭りに期待したい。

(委員) 竹之内 和満

発行責任者

議長 牟田 学

広報広聴委員会

委員長 大野 雅子

副委員長 竹之内 和満

委員 川畑 二美

委員 川原 慎一

委員 渡辺 久治

委員 竹原 信一